

なかなか振りなど覚えられなかったですね。

女性も協力してくれ、武生で衣装を借りてきたり、お化粧したりしました。

清水土建さんでドラム缶を借り、板を引いて舞台を作りぼんぼりを出し「勸進帳」(かんじんちょう)などを奉納しました。だんだん協力できる人が少なくなり途絶えたのは残念です。川のそばでナイアガラの滝・打ち上げ花火もしました。

また、秋祭りに朝日小学校の鼓笛隊のパレードや民謡パレードも出ていました。

女性だけでなく男性の方も浴衣姿で踊っていました。

私の娘も鼓笛隊や民謡パレードに参加したことを覚えています。

この頃は青年団も活発に活動していましたが、いつの間にかなくなってしまいました。

橋谷 : 地蔵講については

現在、竜生寺さん門前にお地蔵さまが祀られています。

このお地蔵さまは、江戸時代頃、西田中の川のそばで亡くなった旅の方を、西田中の住民が葬式を出してあげました。その旅人の懐にはたくさんの金子が入っていました。その当時西田中は2～3年悪作続きで皆困っていました。そこでみんなで、分け合い翌年には、住民は生活を立て直すことができました。その旅人は仏様であったと思い。お地蔵様を建立し1月24日に地蔵講(地蔵祭り)としてお経やご詠歌を上げご恩を報謝するようになったと伝えられています。

最初は現在の福井銀行のところに建立したものを大正7年に現在の西田中墓地に移転、その後、昭和37年に今の竜生寺門前に移転されました。冬期の祭事は降雪もあり支障もあったので催事日を8月24日に変更しました。

昭和35年に西田中区政の設定と同時に地蔵講の当番は小区の持ち回りとなり、宮子当番の年から1年後となりました。

今は御詠歌を上げられる方もなく寂しくなりました。

橋本 : 鯖浦線についてお願いします。

橋谷 : 福井鉄道の水落駅から織田まで通っていました。鯖浦ですから将来的には鯖江から越前地区まで通したかったのでしょうか。今は廃線になりさみしいです。

昭和23年ころは水落から佐々生までの折り返し運転でした。

藤田医院の方が佐々生の土地などを提供されたので佐々生まで伸びていたのです。

今西田中のバス停に桜の木が1本残っています。

電車の駅があった頃からあります。大事にしていきたいです。

昔は、駅前通りの東側に火葬場と墓地があり火の玉が出る・・・とか。

電車に乗るのが怖かった思い出があります。

後に山仙の工場建設に支障があるだろうと撤去され、火葬場は気比庄地区の火葬場を共同使用することになり、墓地は西田中墓地に移転しました。

橋本 : 駅前通りはどうでしたか。

橋谷 : 今より道幅は狭かったですが、農協・餅屋さん・煙草屋さん・靴屋さん・化粧品店・第一織産・八百屋さん・花屋さん・魚屋さん・本屋さん・食堂・パチンコ屋さんなど賑わっていました。